

山木屋在来ソバの栽培特性

佐藤越萌・菅野拓朗*・三本菅猛**

(福島県農業総合センター浜地域農業再生研究センター・*福島県相双農林事務所・

**福島県農業総合センター農業短期大学校)

Cultivation characteristics of native buckwheat “YAMAKIYA”

Kosumo SATO, Takuro KANNO* and Takeru SANBONSUGE**

(Hama Agricultural Regeneration Research Centre, Fukushima Agricultural Technology Centre・

* Fukushima Soso Agriculture and Forestry Office・

** Prefectural Agricultural College, Fukushima Agricultural Technology Centre)

1 はじめに

川俣町山木屋地区では、ソバ在来種“山木屋在来ソバ”が栽培されてきたが、東日本大震災以降栽培が停滞していた。近年、“山木屋在来ソバ”の栽培が開始されたが、生態型等の栽培特性が不明であるため、生産者より特性を明らかにして欲しいという要望もあり、“山木屋在来ソバ”の栽培特性解明を行った。

2 試験方法

本試験では、1) 既存品種との比較試験、2) LP 肥料、緑肥等の比較試験、3) 播種時期の比較試験を実施した。

(1) 試験場所

川俣町山木屋地区で作付されているソバは全て“山木屋在来ソバ”である。山木屋地区で他品種を作付すると交雑の可能性が考えられるため、1) の既存品種との比較試験のみ、川俣町山木屋地区と気候条件に近い飯舘村前田地区、それ以外の試験は川俣町山木屋地区で実施した。

(2) 耕種概要

1) 既存品種との比較試験

“山木屋在来ソバ”、「会津のかおり」、「夏吉」、「とよむすめ」を供試し、播種量 4.0～4.9kg/10a、条間 0.3m、施肥量(成分 kg/10a)N-P₂O₅-K₂O = 2.0-5.0-3.0、苦土石灰 30.0kg/10a、放射性セシウム吸収抑制対策として塩化カリを 8.3kg/10a 上乗せ施用し、2021 年 8 月 3 日に播種した。

2) LP 肥料、緑肥等の比較試験

“山木屋在来ソバ”を供試し、播種量 4.0kg/10a、条間 0.7m、施肥(成分 kg/10a)を LP 肥料区(窒素成分の半分を LP40 に置換)N-P₂O₅-K₂O = 2.8-2.8-2.8、緑肥区(ヘアリーベッチ「藤えもん」を 2022 年 4 月 13 日に 5.0kg/10a 播種し、同年 7 月 12 日にすき込み)N-P₂O₅-K₂O = 0.0-2.8-2.8、慣行区 N-P₂O₅-K₂O = 2.8-2.8-2.8 とし、全区共通で苦土石灰 30.0kg/10a、

放射性セシウム吸収抑制対策として塩化カリを 12.0 kg/10a 上乗せ施用し、2022 年 7 月 27 日に播種した。

3) 播種時期の比較試験

“山木屋在来ソバ”を供試し、播種量 4.0kg/10a、条間 0.3m、施肥量(成分 kg/10a)N-P₂O₅-K₂O = 2.8-2.8-2.8、苦土石灰 30.0kg/10a、放射性セシウム吸収抑制対策として塩化カリを 32.5kg/10a 上乗せ施用し、7 月下旬播種区：2023 年 7 月 24 日、8 月上旬播種区：同年 8 月 1 日、8 月中旬播種区：同年 8 月 10 日に播種した。

(3) 調査方法

出芽期等の生育ステージ、収量等を調査した。

3 試験結果及び考察

表 1 に各試験におけるソバの生育ステージを示した。“山木屋在来ソバ”は開花期が「会津のかおり」と同程度で、成熟期も近いことから中間型の生態型と推測された。

図 1～3 に各区の収量等を示した。LP 肥料、緑肥及び慣行肥料における収量等は同等であった。このことから、施肥窒素成分の半量を LP 肥料に置換する手法、春播き緑肥をすき込む手法を用いても慣行施肥と同程度の収量を得られることが推測された。播種時期における収量等について、子実重は同等、容積重は全ての区でソバの検査等級 1 等の最低限度(640g/L)を満たしていた。一方、千粒重は 8 月中旬播種区で 7 月下旬播種区と比較して軽かったため、品質を考慮して収量を得る場合は 7 月下旬～8 月上旬播種が好ましいと推測された。

4 まとめ

本研究では、川俣町山木屋地区のソバ在来種“山木屋在来ソバ”の栽培特性を調査した。その結果、生態型は福島県奨励品種「会津のかおり」と同じ中間型と

推測され、施肥は窒素成分の半量をLP肥料に代替または春播き緑肥をすき込む方法でも慣行並みの収量を

得られること、播種時期は7月下旬～8月上旬が適していることが示唆された。

表1 生育ステージ

調査年	品種等	区	播種日	出芽期 ¹⁾	開花期 ²⁾	成熟期 ³⁾	開花日数 ⁴⁾	登熟日数 ⁵⁾
2021年	山木屋在来ソバ	会津のかおり	8月3日	8月10日	9月7日	10月4日	28日	27日
		夏吉	8月3日	8月10日	9月6日	10月4日	27日	28日
		とよむすめ	8月3日	8月10日	9月10日	10月5日	31日	25日
2022年	山木屋在来ソバ	LP肥料	7月26日	8月2日	8月24日	9月25日	22日	32日
		緑肥	7月26日	8月2日	8月24日	9月25日	22日	32日
		慣行	7月26日	8月2日	8月24日	9月25日	22日	32日
2023年	山木屋在来ソバ	7月下旬播種	7月24日	7月29日	8月15日	9月28日	17日	44日
		8月上旬播種	8月1日	8月6日	8月24日	10月7日	18日	44日
		8月中旬播種	8月10日	8月15日	9月6日	10月19日	22日	43日

- 1) 出芽期 全体の40～50%が出芽した日
 2) 開花期 全体の40～50%が開花した日
 3) 成熟期 子実の70～80%が成熟した日
 4) 開花日数 出芽期～開花期までの日数
 5) 登熟日数 開花期～成熟期までの日数

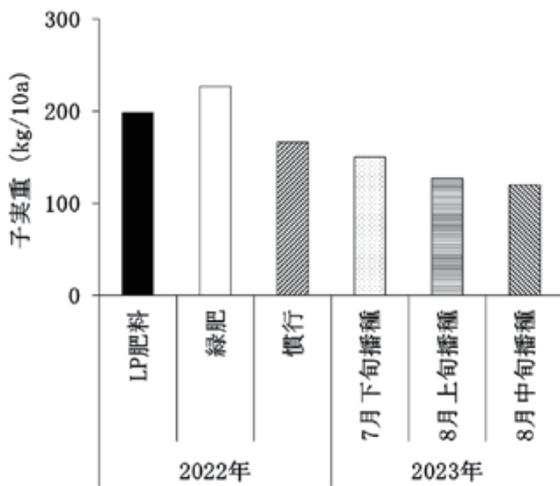


図1 各区の子実重(水分15%換算)

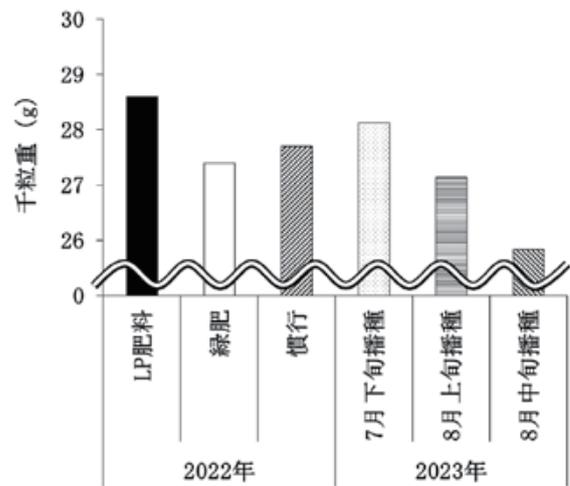


図2 各区の容積重(水分15%換算)

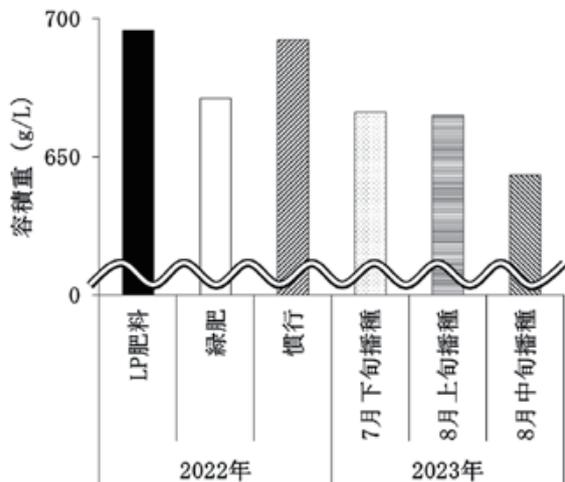


図3 各区の千粒重(水分15%換算)